夕刊 磐城新聞
五月十七日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾錢(郵税拾五錢)
廣告料金 普通欄金六拾錢 特殊欄金九拾錢 (五號十二字詰一行)(場所指定一行一圓)
編輯印刷兼發行人 柏木 折 福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
振替受付口座(クイーライワキ) 平局私書函第十二號 電話五六四番
(日曜祭日翌日休刊)

童話 どん栗と石ころ

千葉省三

どうして、そんなところへ落ちこんだのかわかりません。深い土の底に二つの石ころの間にはさまつて、小さなどん栗が一つごろげてゐました。

石ころも、どん栗も、自分たちは同じ仲間なんだと思つてゐました。見かけはまつたく似てゐますものね

ある日、どん栗が云ひました。

『世界つて、どこもこんなものかしら。』

石ころの一つが云ひました。

『つまらないことを云ふな世界のうちでも、ここが一番上等のところなんだ。』

もう一つの石ころが云ひました。

『世界のことなら、おれに聞くがいい、世界つて三層になつてゐるんだ。おれたちの住んでゐるのが小石の世界さ。この上に赤土の世界つて所がある、其のまた上に黒土の世界つて所がある。其れでおしまひなんだ其の上にもあるかも知れないが、あつたにしても、おれたちにや用のない世界さ!。』

すると、どん栗は、眞面目に考へこんで居ましたが暫くして云ひました。

『私には、どうもここが陰氣で、しめつぽくで居心地が惡いやうな氣がするんです。そして、世の中にはもつといゝ世界があるんぢやないかしらと思へるんです!。』

『ふん、お前は空想家だなあ』と、一つの石ころが口を入れました。

『私は、とき〳〵妙な夢を見るんです。何かキラキラする目もくらむやうなものが、頭の上にかかつてゐます。それを見ると私はもうとてもぢつとして居られなくなつて、出來るかぎりそつちへ背伸びするんです。』

『くだらない』と、一つの石ころがつぶやきました。

『すると私の背がどん〳〵伸びて行くんです、そしてボカリと眼が醒めるのですか、さめてもどうも其の夢が今込にほんとうにどこかであつた樣な氣がしてならないんです。』

『そりやあお前、病氣にかかつゝんだせ。』と一つの石ころが云ひました。

『さうだ。だからそんな夢を見るのさ』と、もう一つの石ころも云ひました。

『おれなんか、じやうぶだから、夢なんてものは見た事がない』

まつたく、幾日も經たないうちにどん栗はだん〳〵妙な樣子になつてきました

石のやうに見えた殼はさけて、中から青白いよわ〳〵しい芽が出て來ました。

二つの石ころは、びつくりして病氣がうつゝてはたいへんとでも思つたのでせう。眼をしつたりと閉ぢて小さくなつてゐました。

しばらくして、そつと眼を開けて見ると上の方から青白い紐が一本垂れて居るきりで、どん栗は何處へ行つてしまつたか見えませんでした。

『かはいさうに、あいつなくなつちやつたせ。』と、石ころの一つが云ひました。

『うん、やつぱり病氣だつたんだな。』と、もう一つの石ころも云ひました。

其の頃、どん栗の芽は上の赤土の世界を拔けて、其の上の黒土の世界も拔けて明るい、まぶしい無限の光の世界へ、おづ〳〵と胸を躍らせながら頭をもたげかけて居ました。

『石ころたちは相變らずしめつぽい、陰氣な土の下に夢も見ず、欠伸もせず、じやうぶでねころんで居ました。

初夏の豊間

矢吹生

初夏の海路はろ〴〵吹き來る風凉しもよ豊間の海よ
若葉山越ゆれば海の開けたり吹き來る風に潮のたゞよふ
滿々と藍たたへたる初夏の海豊間の海よ我になつかし
よくぞ來し豊間の海よ思ひ出の海にかなしき初夏の光よ
突き出でし鹽屋岬の燈台の白きに光る初夏の太陽

時代警語

○宋襄の仁……(史記)

宋の襄公、楚と戰ふ、公子目夷、楚の未だ陣せざるに及んで之を擊たんと請ふ。襄公曰く『君子は人を阨に困めず當に正々堂々と陣を張るを待つて勝敗を決すべし』と却て敗る。つまらぬ義理立てを戒めた言なり

5月18日

△歐人紀貫之歿す(天慶九)△練兵天覧の始(明治二)△官吏減俸案に對する政府の決議と共に鐵道職員、司法官等の間に反對の聲漸く高し△警察部長會議開會△六大リーグ戰ボーク問題で騒ぐ△福井縣小濱沖でモーターボート破壊、

社會の今日

八名溺死(昭和六)

○

ほととぎす鳴きて通れりこの丘の、青葉くらきに雨は來んとす　松村英一

窓に入る樗の風や更衣　紅女

講談 お蘭陀お蝶 (31)

渡邊默禪作 布施長春畫

出島・江戸町波戸場、西御役所正門前に接續した埋立地で面積の廣い扇形の一廓がそれである、四方が石垣土壁、西に棧橋、東に門を設けて海陸の交通に便なる樣に拵へてあつた、是は以前南蠻館と呼び長崎の資産家二十五人が工費を負擔して、ポルトガル人の爲めに新に開いた土地で借地借家料として年額銀八十貫目をポルトガル人より徴收したものだ、それが寛永年間の鎖港令發布でポルトガル人の渡航を禁止してから暫く空地になつてゐたのを斯くては南蠻貿易の途が杜がり、町方一帶難澁するといふので市民から奉行所へ愁訴の上、それ迄、平戸に居住した和蘭陀人を此處に移轉せしめたのである、斯く市民に優遇された蘭人も鎖國主義の飛沫を受けて、其の自由を束縛され、殆んど此の出島に監禁されたやうなものであつた、第一長崎市中の散歩すら年に幾回と制限され、規定の外に一歩も館外に出ることが叶はず出る時は奉行の許可證を携帶し、表門を固めてゐる衛士といふ役人の檢査を受け又た市中を徘徊するうちも前後に衛士がぞろ〳〵と従いて行く、彼等の窮屈さ加減は如何であつたらう、今より偲ばれる、面白いのは表門に立つた禁制高札である、曰く『傾城の外女入る事、高野ひじりの外出家、山伏入る事、諸勸進の者、並に乞食入る事、附たり橋の下船乘廻る事、斷りなく和蘭陀人、出島より出づる事』といふのだ、是は寛永十八年己十月の制札で奉行關係諸役人、町年寄、傾城高野ひじりを除く外、何人と雖もみだりに出入することが出來なかつた、幕府は斯くして密貿易を防いだので呼ばれた、傾城でさへも表のお關所で綿密な身體檢查を受けた、此の檢査をするのが衛士の役徳であつたそうな

奉行の會我は西の棧橋から上つて館内に長七郎、主從を導いた。當時の船長はデオビローといつて頗る快活な交際上手な白人であつた、通詞の話しで將軍家の一族が旅行の途次訪問された事を聞くと非常なよろこびかたで舊船長と共に恭々しく迎へた、そうして館内を殘る隅なく開放して見せた。

二百年前に於ける外人生活は、いかに怪しく且つ新らしく此の貴公子の眼に映じたことであらう、見るとして驚嘆の種ならぬはなく程に、奇を好む少年探檢家の官能を刺戟した。

庭園には雨青む、若草煙つて南洋邊りから移し植えた、大輪の花卉が、勢ひよく咲き匂つてゐた、其の間をぴしよ〳〵濡れになつた豚や山羊、洋犬などが駈け回る、先づその光景からして日本の物ではない、幾棟かに建られた宏壯な館は日本風と支那式と歐羅巴タイプと、まぜこぜにした怪しげな鵺的建物であるが、それすら南蠻國の建物はこんなものかと一行の心を駭ろかしたのである。

デオビローは、食堂に長七郎殿主從を導いて盛なる饗宴を張つた。

『又右衛門、〈〈、此の屋敷は正しく妖怪變化の棲家油斷ないたいて引き裂かれまいぞ、宅兵衛、宇平次手どりにいたせ!』

『妖怪とは異なことを……』

『それ其處に參つてゐるではないか、鬼形の怪物』

『いやあれは變化や鬼などではございませぬ』

『でなうて何ぢや』

『當屋敷に召し使はれて居りまする黒人と申するびす矢張南蠻國出世の人間でおざりまする』

拈華微笑

皐月の天に不釣合な人々の憂鬱 ◇ 磐中當局が泣て馬謖を斬る五年生七名の停學處分 ◇ 高女生の讀み物に性關係が無かつた?のは結構 ◇ 酒無しで醉つ拂つた今年の春 ◇ 鎌田青年の救貧基金募集。遊廓通ひの通行税徴收などは如何 ○……○

ラヂオ

……十八日(水曜)…… 仙臺 JOHK

△前六、三〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象
△九、一〇 料理獻立(メキシコサラダ)朝倉長吉
日用品値段(鮮魚るい)
△一〇、三〇 家庭講座(アマゾンの資源)拓務技師 芦澤安平
△正午A 時報
△後〇、〇五A 富本(女鳴神瀨川帽子)富本豊前 豊喜代 豊千代
△〇、四〇A ニュース 氣象
△二、〇〇A 家庭大學講座(近古歌壇の趨勢)武島又次郎
△三、一〇 六、〇〇A 運動競技(六大學野球リーグ戰試合狀況 明大…慶大)
△三、四〇A 氣象
△四、〇〇 ニュース
△四、〇〇A 角力中繼(夏場所角力狀況)野球放送無き場合
△六、〇〇A (子供の時間)國際善意デー(一、宣言 二、管絃樂 イ、日本民謠集 ロ、アメリカ民謠による幻想曲 ハ、支那の踊り ニ、ドイツ民謠集 ホ、イングランドの想ひ出 へ、フランス魂 ト、イタリー民謠集)東京ラヂオオーケストラ
△六、三〇A 英語講座(初等科)岡倉由三郎
△七、〇〇A ニュース 氣象
△七、三〇A 講演(夏と電氣)東京電燈株式會社工務部長社團法人電氣普及會幹事工學博士太刀川平治
△八、〇〇A ヴアイオリン獨奏 諏訪根自子
△八、三〇A 歌澤
△八、五〇B 國際オリムピツク派遣應援歌發表演奏會實況
△九、三〇A 時報
△九、三一〇 奉天より
△九、四〇A ニュース 氣象

吉田眼科病院 平町紺屋町

受賞御挨拶
今回當地主催昭和産業博覽會開館中小生特許第八九九二二號手袋機械實演に際して本縣視察員始め各地市町村勸業課員及産業組合、消費組合等の公共團代表者各位其他一般觀衆の絶大なる賞讃を博し更に審査會に於て名譽大賞牌を賜はりました事は從來皆々樣の御同情御後援の賜と深く感謝する次第で御座います。今後は當地は固より本縣延いては日本全土に向つて本機械及製品を普及し當地方産業開發の爲益々奮闘努力する覺悟であります。何卒微力なる吾々に尚一層の御後援賜はらん事を紙上より切に御願する次第で御座います。
平町 坂本メリヤス工場 坂本兼治郎

度量衡。計量器。吸入用酸素。酸素吸入器。
關内藥局 電話四〇番

夜間診療
胃腸 内科 十二指腸潰瘍 專門 内科部
梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸病科醫院 (平南町電話一〇七番)

優秀なる洋傘とショール
●あらゆる種類の新製逸品……絶對廉價に豊富取揃ひました●
中野洋品店 平二丁目(電話五三番)
三井生命保險株式會社 第一徴兵保險株式會社 代理店

外科專門 X光線科 入院隨意(自炊の便あり) 病室完備
上田醫院 平南町(電話一二九)

エビス 生ビール 二立ビン詰 ジヨツキ御貸いたします。
皆樣の弊店を御愛顧願上升。
銘酒榮川 サツポロ ユニオン食料品
谷口商店 平鍛冶町(電二四六)

内臓外科 外科一般 花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡(電話四七五番)
看護婦募集
安齋外科醫院

はいびやう ろくまく 必ず全治
神薬 滋惠素の靈効
本劑を服用すれば忽ち身体の活力を増進し、抵抗力を強め、病毒菌を殺滅して患部を速に癒し短日にしてメキメキと健全なる身体となる。その迅速なる事恰も目に見へるか如し。
無代進呈 家庭療養秘訣(四十ケ條解説) 全快の手引(ハガキで御もうし込あれ)
主治効能……肺結核・ろくまくえん・こうとう結核・腸結核・肺尖カタル・氣管支カタル・腹膜炎・咳嗽・るいれき・腺病質・ひん血症等に特効あり
悩める友 先づ來りて御相談あれ
製藥本舗 大阪 合資會社 岡本全快堂本店
滋惠素 特約販賣店 福島縣石城郡平町七丁目八番地 滋惠素專賣店 阿波屋染物店向 馬目喜代

安くて書きよい

金壹圓以上二十數種
ウエルのペン金は正十四金、本邦唯一の專賣特許の合金方法にて製作(東京府商工奬勵館試驗部試驗濟)目録呈上
ウエル萬年筆 ライトインキ 代理店
魁文堂 電話三一三番 平町字搔槌小路

移轉披露
此度都合ニヨリ左記ニ移轉致マシタ今後共何分ノ御援助チ願マス。
警察署、役場、郵便局、其他諸官署、一般行政書類及書翰廣告文類
平町字四丁目郵便局裏川岸通り
根本代書事務所

りん病 こしけ 永らく病む人の福音
天下の名湯別府温泉で出來た(無効返金責任藥)
登録商標 岩里りん病こしけ別府淋藥
全國知名新聞雜誌推奬—こんなヨイクスリ未だ知らない方がありませうか。
右は岩里家古來より家傳秘法藥にして男女血ウミ慢性淋病コシケ消渇の痛みは不思議に止り連服するも絶對胃腸障害なき名藥であります。尚ほ此の藥は責任速効藥で二日内服して効無き時は殘藥引換に全部異議なく返金します、論より證據服藥した人は皆全快喜んで居られます。
◎慢性、惡性頑固性の人は七日以上服用して下さい美本淋病治療書無代進呈(此の新聞名記入申込者に限)代金引換廿三錢手數料前納の事、前金申込者には送料無料送藥す。
藥價……急性用 黒箱 一週分 金三圓 慢性、惡性用 赤箱 一週分 金五圓
平町古鍛冶町一〇
特約一手販賣 阿康藥舗 縣社の下(電話四四番)

大政治家を喪ひ 的 民衆 地方人にも憂愁の色

中央の突發事件は斯く反映す

呪ふべき『力』の跳梁によつて巨木の倒るる如き大往生を遂げた犬養首相の死。一昨十五日の深更この想ひ設けぬ悲報に接した地方民は愕げて猶愕の裡にこの民衆的大政治家の他界を悲しみつつある、彼の偉の如き痩軀の煙々たる眼光を輝かして宛然大地に根張つたやうに力強く兩脚を稍々千鳥に踏んまえ低音太鼓から錆びのある、そして底力の漲つたあの聲で——政友會內閣として實現を要すべき政策竝緊急事項を國民に告示する——その來る臨時議會に於てなされんとした大演說は清新潑溂の氣分を飢えたるものの如く欲求する民衆が如何に之を期待したことであらうか、而も永い間の炭況不振に萎縮し切つた石城地方の人士等に於て一層その深刻なるものがあつた筈で、疲弊に喘ぐ漁農村に於て亦然りである、勿論遽然としてその黨首を喪つたにせよ、天下の公黨たる政友會傳統の主義綱領に何等動搖のあるべき筈は無いが民衆はたゞ直面の凶變に愕き悲しむのである。聞け。見よ。昨今の平町は絃歌のさんざめきもスピーカを流るるラヂオの音樂も癈と止まつたかの觀があるではないか、人は憂ひ鷲犬は愕き、大衆の氣分は期せずして其所へ導かれたのである

日朝會に於て犬養首相の遭難に就き各校長より物事を訓戒暴力に許へる事の非を訓戒する處あつた

全校生に訓戒
今朝各中小學で

平町各中小學校では今十七

箱崎上等兵の遺族に 畏き邊りより祭粢料
—昨日聯隊區から傳達—

過般閩島附近の兵匪討伐に際し名譽の戰死を遂げた玉川村出身上等兵箱崎光君の遺族に對し畏き邊より祭粢料を下賜され昨十六日福島聯隊區より傳達された

在滿兵慰問
縣會議員井上茂作、野崎兩縣議出發
滿藏兩氏は縣會議員五名の在滿兵慰問員として二十四日午前二時二十二分平驛發列車で出發する

三時三十三分平驛着で凱旋

川上龍三郎氏は十九日午後歸鄕すると

新川改修工事
六年度分打切り
買收決定後今年度續行

平町外二ヶ村水害豫防組合長二百六十五米七之の工費の六年度繼續事業である新六千五百六十四圓を以て一川の改修工事は昨年十二月先づ工事を中止し昨十六日中總工費七千三百九十圓を酒井助役其他が竣功檢査を以て着工したが沿線土地の所有者中淺野英雄氏關係の着せず七年度の工事に支障買收に一頓挫を生じた爲最を來す場合には止むを得ず初の豫定を變更し今年は延土地收用法を適用するの餘

朗かな女學生は 何んな本を讀む
興味ある磐女の統計

主婦の友一一五、婦人倶樂部一一五、幼年倶樂部八八、家の光七八、令女界七〇、少女畫報三三

樂部一一五、婦人倶樂部一一五、幼年倶樂部八八、家の光七八、令女界七〇、少女畫報三三

一年三一八名一八種、二年三五三名二四種、三年五六七名二九種、四年四四一名三六種

氣候中和の爲 蠶況頗る良好
何れも前途を樂觀

蘭價安と桑園改植に因る收葉量の減少を見越し何れも

關西の旅から (5)
磐中見學團通信

——(第四信)——

(京都、比叡山、琵琶湖)

十二日——何時から降り出したか朝から雨だ、旅行車で八瀨へ行く、雨の京郊では第一回目の雨天である外の感覺——嬉しげな生の跳躍だ——。始めて乘るケーブルカーは近代科學の尖端でもあらう。あのと思はれる急傾斜をグン〳〵昇つて行く、山々に滃ひかぶさつた同人の妹、とし子(三)に願ひ出た

矢吹元訓導長逝 平女子
平町慶弔錄

△山生

三丁目一大阪府豐能郡あさ田村あさ田一六一五江原一郎長女英子

△死亡

久保町三七高橋ミノ(金三)

平女音總會
平女子青年團春期總集會は二十七日午後一時より世界館に於て開催、團員意見發表、團長選擧あり終つて正木磐女校長の講演、餘興等あり終つて正木磐女校長の講演、餘興等ある筈で盛會を豫想されてゐる

平町蠶業取締支所 八月中竣功
疲弊せる各町村から極力寄附取纏め中

平町蠶業取締支所設置決定以來當業者は設計其他に就き縣當局と折衝を重ね春蠶關係町村と協力し結局何と上簇期迄に竣功を見諭み設計書が此程漸く完成したので目下管轄各町村に割り當てた建設費の寄附採納認可方を縣に申請中であるが現下の疲弊せる農村より寄附は確實に竣功される豫定で一般蠶家から待望されてゐる

專賣局の八百名が 赤井嶽登り
來月三日男女工の清遊

水戸地方專賣局男、女工八六日水戸驛で其筋の保百名の一團は來月三日午前八時十一分平驛着列車にて磐越線へ聯絡同八時四十五分赤井驛着關伽井嶽に登攀し一日の清遊を試みて平發午後五時五分で歸水する

通信社全勝
磐城通信社對世界館の野球

昨日の野球試合

試合は昨十六日午後三時から第一小學校庭に於て行はれたが九A對八で通信社辛勝した

兄に負けて
口惜し紛れの家出
少年水戸から歸る

艶罪黑白

◇第二小學校時代の優等生、ブロの今日迄つてゐる久保のほんかは『ぼ丹に唐獅子は なる筈だつたのを『アタシ未だその器で無ア』と例の小くびかしげ乍ら固辭して受なかつたのだが今度逸

八つ切事件
地方に無關係
平署から縣へ報告

東京府下寺島町玉の井の八つ切死體事件に關し最近昭

救貧基金募集に 鎌山青年が活躍
『音樂舞踊と劇の夕』開催

等で割合低いのに反し師範卒は男四五圓、女四〇圓で女二八圓

午後七時半から張田聯隊長を迎へ講演會を催すと

小學教員資格向上
郡內各町村には教員俸給の支拂に窮し師範卒業生の代りに代用教員を採用し居るのも少くないが給料は代用中學卒男二八圓、女二五圓、經驗者男三〇圓

小兒列車を停む
昨日入山專用線で
危く轢死を免る

湯本町入山炭鑛專用線を石炭滿積の二百六十二號貨物つてゐる、霧に展望はさへは船で琵琶湖廻り此の頃よ

兩宮殿下御買上の 御料鹽豚
田町 三二三肉店
電ソ三二三番

斷罪黑白

◇山生

三丁目一大阪府豐能郡あさ田村あさ田一六一五江原一郎長女英子

△死亡

久保町三七高橋ミノ(金三)

妻子を捨てて 出奔した男
平町に居る事判明

平町に居る事判明

瞬時の夢を貪る暇もなく桃案內人附でした犯人は名古屋市西區東毬

投書歡迎

內科、小兒科 入民應需
花柳病科
藤沼整形

平町紺屋町 電話平五〇七番

生花教授
池ノ坊流 生花を愛好丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤なの